

図書館システム連携

公共図書館システムとデジタルアーカイブのシームレスな連携を実現

WebOPACで図書資料とデジタルアーカイブ資料の横断検索を可能に

図書館システム（iLisfiera/WebiLis）は、デジタルアーカイブシステム（Musetheque）と連携することで、WebOPACでの図書資料・デジタルアーカイブ所蔵資料の横断検索が可能になります。

期待効果

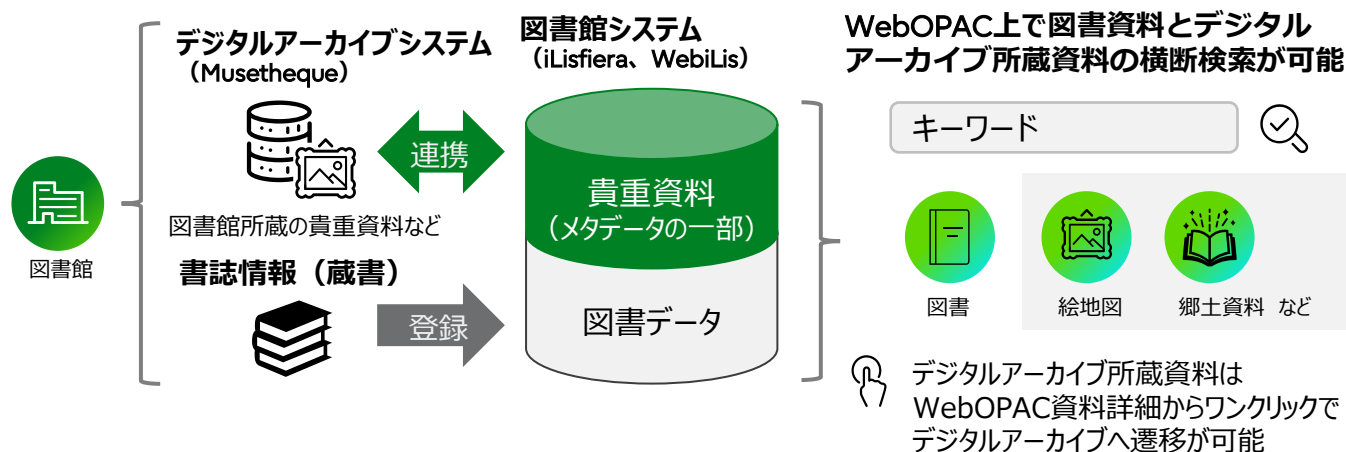
レファレンスへの活用

資料の種類を問わずWebOPACから一括で検索を行うことができるため、資料の検索利便性が向上し、レファレンスに役立てることができます。

地域資料の利用の加速

WebOPACの検索結果としてデジタルアーカイブ資料が図書資料と同時に提示されるため、利用者の目に留まりやすくなります。これにより、地域資料の認知度・利用率向上が見込めます。

導入イメージ



導入実績

MusethequeをWebOPACと連携してご利用いただいている図書館様

- ・青森県立図書館 様
- ・神奈川県立図書館 様
- ・姫路市立図書館 様
- ・大分県立図書館 様 他多数

複数館でデジタルアーカイブを共同利用し、地域資料の利活用を活性化

Musethequeでは、地域の図書館・博物館・公文書館等でデジタルアーカイブを共同利用し、各館の持つ資料を同システム上で統合管理・公開・横断検索することも可能です（MLA連携※）。

期待効果

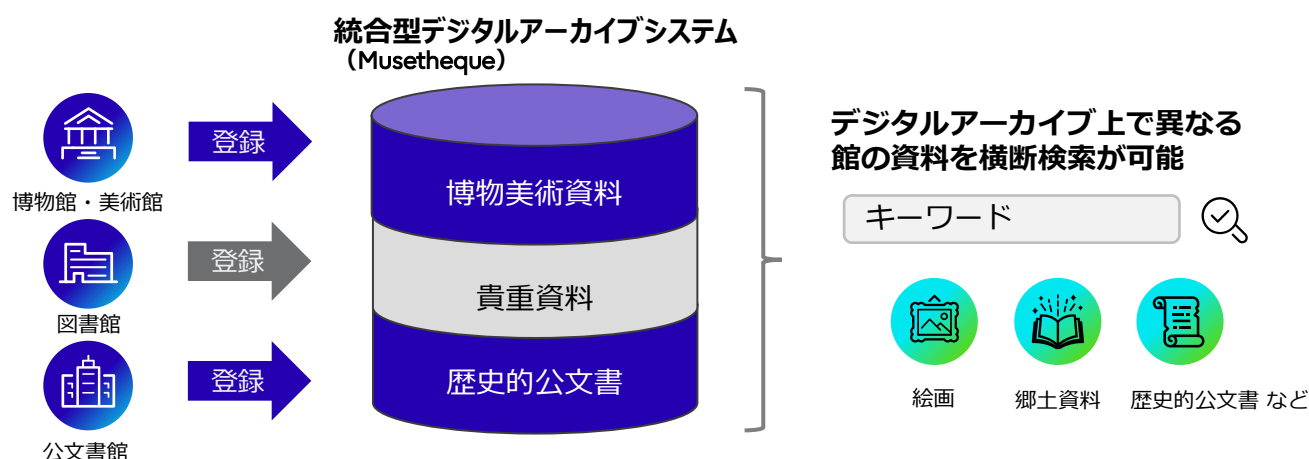
シビックプライド（市民の都市・地域に対する誇り）の醸成

複数の機関の資料を一つのシステムで検索・閲覧できるため、教育・研究や市民活動などのシーンで有効活用が出来ます。これにより、地域住民の地域の歴史・文化のより一層の理解を促進します。

観光客誘致の促進

デジタルアーカイブを通じて、地域の豊かな文化や歴史を効果的に発信することが出来ます。これにより、観光客誘致を促進し、地域経済の活性化に貢献します。

導入イメージ



導入実績

複数館でMusethequeをご利用いただいている図書館様

- ・姫路市立図書館 様
- ・大分県立図書館 様、他多数

お問い合わせ先

富士通Japan お客様センター

0120-835-554

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:30

（土日祝日・富士通Japan指定の休業日を除く）

富士通Japan株式会社

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5

JR川崎タワー